

平成26年度「輝けやまがた若者大賞」受賞者一覧

(50音順)

No	団体名	主な活動内容等
1	<p>あみゆ〜ず Am遊's (南陽市)</p> <p>・代表 高橋 歩美 (南陽市在住) ・会員 8名(男3、女5)</p>	<p><活動概要>・対象活動開始時期 平成21年6月 「地域の中に、親子で遊べる場所やイベントが少ない」といった課題があることから、親子が交流できるイベントを企画・実施するとともに、子どもたちが交流できる場を創出するため、地域の各種イベントなどにおいて駄菓子屋ひろばを出展し、賑わいづくりを行っている。</p> <p><25年度の主な活動> ・クリスマスに親子での「お菓子の家づくり」を実施 ・地域のイベントにあわせて「駄菓子屋ひろば」を開催 など</p> <p>○親子の活動という視点は他団体にあまり例がなく、お菓子の家づくりなど夢がある若者らしい取組みを評価。</p>
2	<p>えんがわ いち 縁側ごろつき市 プロジェクト (村山市)</p> <p>・代表 佐藤 喬一 (村山市在住) ・会員 6名(男3、女3)</p>	<p><活動概要>・対象活動開始時期 平成22年4月 “売る側も買う側も顔の見える関係”であることを重視した、誰でも参加できるフリーマーケット「縁側ごろつき市」の企画・開催をはじめ、食と農を通じた地域づくりを目的に活動している。</p> <p><25年度の主な活動> ・「つくった人が、うる人」をテーマとしたクラフトマーケット「縁側ごろつき市」の開催 ・県内の各地域で「市」や「マルシェ」を開催している団体の代表を招いたシンポジウム開催 など</p> <p>○独自の視点から売り手と買い手のコミュニケーションを試みるユニークな取組みである点を評価。</p>
3	<p>こうえきしゃだんほうじん 公益社団法人 さがえせいねんかいぎしょ 寒河江青年会議所 (寒河江市)</p> <p>・理事長 大泉 拓也 (寒河江市在住) ・会員 45名(男41、女4)</p>	<p><活動概要>・対象活動開始時期 平成22年4月 寒河江(西村山)における地域の宝を掘り起こし、魅力的な地域ブランドとして全国へ発信するとともに、地域全体でのおもてなしをすることで住民の絆を育み、地域活性化につなげることを目的として活動している。</p> <p><25年度の主な活動> ・寒河江祭りに併せて焼き鳥Bar(バル)を開催 ・1市4町にまたがるサイクリング大会「ツール・ド・さくらんぼ」を開催 など</p> <p>○地域資源を活かしたイベント開催により多くの人々が寒河江市を訪れる機会を創出し、地域の魅力を全国に発信すると共に、住民参加による地域全体でのおもてなしを通して、地域のにぎわいづくり・連携が図られている点を評価。</p>

平成26年度「輝けやまがた若者大賞」受賞者一覧

(50音順)

No	団体名	主な活動内容等
4	<p>つるおか じゆく 鶴岡まちづくり塾 はぐる 羽黒グループ (鶴岡市)</p> <p>・代表 古野 伸典 (鶴岡市在住) ・会員 17名 (うち若者12名 男6、女6)</p>	<p><活動概要>・対象活動開始時期 平成21年10月 地域活性化のためには、住民・特に子ども達に地域の良さを知ってもらうことが重要と考え、羽黒の歴史をテーマとした小学生向けガイドブックを作製するとともに、それらを活用したイベント開催などに取り組んでいる。</p> <p><25年度の主な活動> ・松ヶ岡開墾の歴史に焦点をあてた冊子「松ヶ岡かいこん物語り」を作製発行 ・「庄内藩士の開墾をたどる路」をめぐる親子ツアーを実施 ・冊子「はちこの皇子物語り」の配布と、縁の地をめぐる親子ツアーを開催</p> <p>○地域の歴史を調べ、ガイドブックを製本するだけでなく、これを活用し、子ども達をはじめとした幅広い世代を対象として、地域の魅力を伝える取組みが行われている点を評価。</p>
5	<p>やまがたぶんかいさん 山形文化遺産 ぼうさい 防災ネットワーク (高畠町)</p> <p>・代表 田中大輔 (上山市在住) ・会員 89名 (うち若者70名 男14、女56)</p>	<p><活動概要>・対象活動開始時期 平成21年5月 新潟県中越地震を契機に、県内の若手有志が「文化遺産を未来に伝える」ことを唯一の目的として活動を開始。文化財防災に関する普及啓発や、有事の際の文化財レスキューに備えた資料の所在調査、東日本大震災により被災した資料等の保全処置作業を行っている。</p> <p><25年度の主な活動> ・被災資料の保全処置作業 ・大蔵村肘折地区での資料所在調査を実施 ・震災直後にレスキューを行った資料の返還</p> <p>○根気のいる地道な取組みを継続するとともに、住民のボランティア作業参加を通して、地域の文化財に目を開かせるきっかけをつくるなど、地域における文化財保全に貢献している点を評価。</p>